

ひろい心 通信

がっこうきょういくもくひょう じつげん
学校教育目標の実現をめざして！

がっこうひょうか きょうりょく
学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。

けっか ほんこう きょういくかつどう かいぜん つと
この結果をもとに、本校の教育活動の改善に努めてまいります。

コミュニケーションの基本である「あいさつ」については、肯定的な回答が、
ほごしゃ アンケートでは 96% (R5:94%)、児童アンケートでは 91%
(R5:91%) となりました。今年度は、「熟議を活用した意見交換会」での話し
あ じどうかい だいひょういんかい こ げんかん た うんどう
合いをうけ、児童会・代表委員会の子どもたちが玄関に立ち、あいさつ運動に
と く らいこう おお きやくさま ちいき かたがた おのえ
取り組みました。来校される多くのお客様や地域の方々からは、小野江
しょうがっこう こ ほ ことば
小学校の子どもたちはよくあいさつができるとお褒めの言葉をいただいでい
ます。

がくしゅうめん じゅぎょう こ
学習面では、授業でがんばっている子どもは 96%
(R5:96%)、家庭での学習をがんばっている子どもは
85% (R5:81%) となっており、意欲的に学習に取り
く こ すがた
組む子どもたちの姿があります。



かてい こ こころ よ そ こ ようす へんか き こころ
家庭では、子どもの心に寄り添い、子どもの様子の変化に気づくように心
がけているほごしゃが 98% (R5:99%)、子どもの話をしっかりと聴くように
こころ ほごしゃ
心がけている保護者が 98% (R5:96%) であることから、子どもたちがお
かたがた ほか あいじょう ささ
うちの方々の深い愛情に支えられていることがわかります。

いっほう じ こころていかん かか せつもん こ み
一方で、「自己肯定感」に関わる設問については、子どものよいところを見つ

け、ほめるようにしている保護者が99% (R5:99%) であるのに対して、自分にはよいところがあると思う児童は86% (R5:89%) に留まっています。学校でもお互いのよいところを見つけ、認め合う活動を進めています。引き続き、学校、家庭、地域とあらゆる場面で、子どもの良さを認め、伸ばしていけるように取り組んでいく必要があります。

情報機器の使い方についての項目では、テレビやゲーム、インターネットや携帯電話などについて、約束事をついている保護者が83% (R5:83%) であるのに対して、テレビやゲームをする時間を決めている児童が62% (R5:73%) に留まっています。



(令和6年度全国学力・学習状況調査の児童質問紙回答結果では、「平日テレビゲームを3時間以上する児童の割合」が全国平均値30.3%に対して、小野江小学校は39.5%となっています。)

書き込みやメールでの誹謗中傷やいじめ、個人情報流出など、子どものスマートフォン利用によるトラブルに巻き込まれることがないように、ペアレンタルコントロール(子どものスマートフォン等の使用状況を保護者が把握したり、安全管理する仕組み)を活用したり、フィルタリングを利用したり、家庭でのルール(「利用する場所を決める」「名前や顔写真を書き込まない」「保護者がパスワードを管理する)をつくったりすることに合わせて、利用する時間や時間帯を決めることが必要であると考えます。

今回のアンケート結果をもとに、保護者、地域住民、教職員からなる学校運営協議会(CS)でも協議し、よりよい学校づくりに努めてまいります。保護者、地域の皆様のご支援、よろしくお願いいたします。

子どもたちの様子をHPで紹介しています。「小野江小」を検索、もしくは

URL <https://asp.schoolweb.ne.jp/c20200063> QRコードから

